

# 教えて! Q&A

資産形成なら **SMAM**

おかげさまで15周年、エスマム

今日のテーマ

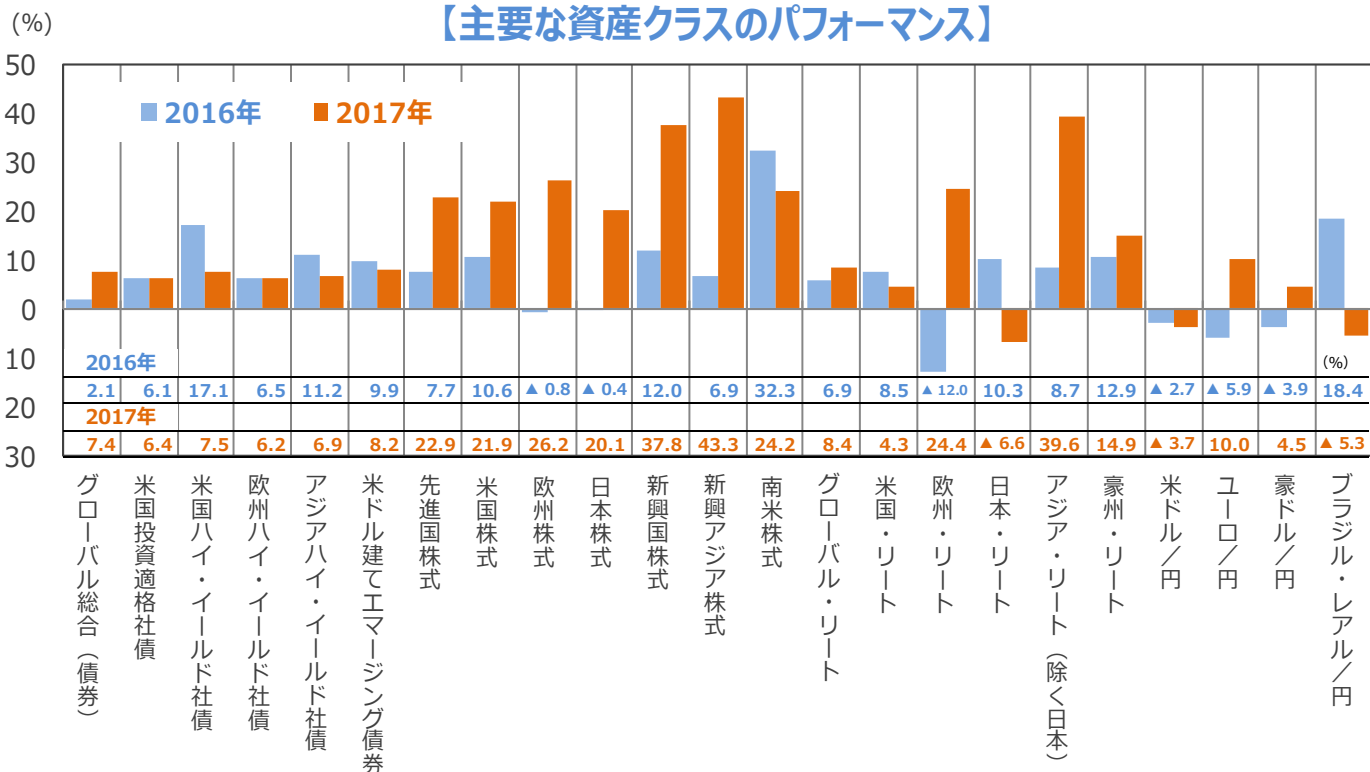


## 主要資産のパフォーマンス

### Q 主要な資産のパフォーマンスを比較すると？ (2017年)

**A** 2017年は株式が好調でした。特に、新興国がアジアを中心に高い収益率となりました。先進国株式では欧州、日本が2016年比べて回復が顕著となりました。リートはアジア（除く日本）、欧州が好調でした。債券は概ね+6%～+8%程度の安定した収益率となりました。

【主要な資産クラスのパフォーマンス】



(注1) グローバル総合（債券）はBloomberg Barclays Global Aggregate Sovereign Index、米国投資適格社債はBloomberg Barclays U.S. Corporate Investment Grade Index、米国ハイ・イールド社債はBloomberg Barclays U.S. High Yield Index、欧州ハイ・イールド社債はBloomberg Barclays Pan-European High Yield Index、アジアハイ・イールド社債はJ.P.Morgan Corporate Non Investment Grade。株式はすべてMSCI指数の主な国・地域指数。リートはすべてS&P先進国リート指数の主な国・地域指数。

(注2) すべて総合収益ベース。日本株式、日本・リートは円ベース。他はすべて米ドルベース。

(出所) Bloomberg L.P.、J.P.Morgan Markets、FactSet、S&P Dow Jones Indices LLC  
のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。